



がんの専門家である垣添忠生医師が、青森県八戸市から福島県相馬市までのみちのく潮風トレール1025キロを歩くことで、がんサバイバーの支援と東日本大震災の被災者の心の傷に少しでも寄り添いたいという思いから、82歳になるドクターカキゾエは、歩く決意をしました。

雨が降っても、風が吹き荒れても、ひたすら歩き続けます。移り変わる美しい自然の風景とともに、歩くときさまざまな人々との出会いが生まれます。がんと共に生きる女性、震災の悲しみをそれぞれのやり方で乗り越えようとしている人々。ドクターカキゾエは、歩きながら思索を重ね、確信したことがあります。

「がんでも、震災でも、人は逆境にたたされても、必ず復活する力を持っている。」復活する人の強さとは何か?

映画は、静かにその答えを示唆してくれます。

がんサバイバーと3.11被災者に出会う Dr.カキゾエ・82才の 1025km

奥様を亡くした消えない悲しみに抗うような、垣添先生のひたすらな歩みに心打たれました。被災者やガン患者、それぞれの痛みに寄り添うことが、互いを癒し立ち上がる力になる。是非ご覧頂きたい映画です。 アナウンサー 山根基世

三陸海岸1000キロを完歩する82歳、垣添先生の歩みの力強さ温かさ。その姿に共鳴したがんサバイバー、震災被災者たちから語られる言葉に多くの人が励まされるに違いない。 フリーナンサー 笠井信輔

イラスト：巖山光三郎



垣添忠生 Kakizoe Tadao

1941年大阪府生まれ。東京大学医学部卒業。国立がん研究センター病院に泌尿器科医として勤務。後に総長を務める。現在は、公益財団法人日本対がん協会会長。がんの診断、治療、予防に幅広く関わり全がんに目配りしている。著書「がんと人間」「妻を看取る日」「カキゾエ黄門漫遊記」他多数。

朝日新聞 読賣新聞

0テレ
NIPPI-TV

大鵬薬品工業株式会社

KANAMIC NETWORK

SNBL 株式会社 新日本科学

医療法人 啓信会

TERUMO テルモ株式会社

DAIMAD

ダイワ包材 株式会社

株式会社BP-TECH

日本セルフケア研究会

Canon キヤノンメディカルシステムズ株式会社

キヤノンメディカルシステムズ労働組合

HappyJapan

吉田病院

医療法人社団 永生会

OMO 松倉中央クリニック

大分 大山町農業協同組合

オキ ホールディングスグループ

Oki Holdings Group

小野薬品工業株式会社

岩泉ホールディングス

TF Clinic 医療法人路風会

藤井隆広クリニック

三菱居合道部

東京メディカルスクール